

道



2022年3月23日(水)発行

【進級に向けて】

陽の光に春を感じられる季節となりました。学年末考査が終わり、進路講演会、学年企画行事、球技大会と行事続きの毎日でしたが、3学期も終わりを迎えようとしています。1年を振り返ってみてどうだったでしょうか。この1年で心も身体も一段と成長したように感じます。4月からはいよいよ2年生です。新1年生を迎える準備は出来ているでしょうか。須磨友が丘高校の2年生として、知・考・行の校訓のもと、自覚と責任を持って何事にも取り組めるようになってほしいと思います。

【学年企画行事】

3月15日に学年企画行事が行われました。学年企画行事実行委員会を中心に話し合いを重ね、自分たちで企画・運営をして作り上げた行事でした。クラス対抗の「紙飛行機飛ばし」「大縄」「クラス全員リレー」とクラス内での協力や協調性が試される競技となっていました。



優勝

6 組

準優勝

1 組



～実行委員のみなさん、お疲れ様でした！！～

- 1 組 大上誠太 荻野琴帆 金西美桜 松本千桜都
- 2 組 安保仁美 田川鈴桜 中井涼香 本間幹人
- 3 組 稲坂茉依 井上真央 小林芽衣 杉本律樹
- 4 組 奥村真宇 小林幸也 寺井夕翔 中野航希
- 5 組 上田百華 木村有里香 木本希愛 立助航太
- 6 組 大河原彩衣 岡崎太玖 田中凜 山本佳奈

第1種目 紙飛行機飛ばし(企画2、5組)

★1位 5組 ★2位 6組



せーの、それ～！！

第2種目 大縄(企画1、4組) ★1位 3組 ★2位 1組



いち、に、さん、し…



第3種目 クラス全員リレー(企画3、6組) ★1位 6組 ★2位 3組

よーい、ドン!



ゴール! おめでとう!



★総合優勝の6組には賞品がプレゼントされました!



【球技大会】

優勝

3 組

準優勝

1 組



【学年の先生より】

「これからの生き方」

過日、高校入試が行われました。中学3年生の姿を見た時、緊張した面持ちの中に皆さんの1年前の姿が重なりました。去年の3月の合格者説明会、4月の新入生登校日、そして入学式。まだまだあどけなさが残る皆さんの顔が懐かしく思い出されます。約1年が経ち、大人びてきた皆さんの顔つきに本当に時の流れの速さを実感します。この1年間で皆さんはどれほど成長したのでしょうか。楽しいこと、嬉しいこと、辛かったことを経験し悩みながら大人の階段を昇ってきたことだと思います。途中で立ち止まったり、後ろを振り返ったりしながらも前へと進んできたのです。心から敬意を表します。

人生100年時代と言われる昨今、皆さんの人生はまだまだ入口あたりにいることになります。これからの人生を切り開いていく中で大きな夢を持ち、そして挫折を繰り返していくことになるでしょう。挫折は次へのステップと考えて決して夢を諦めることなく邁進し続けてください。

最後に私の好きなメジャーリーガーで不世出と言われた大打者スタンミュージアルの言葉を皆さんに送ります。「私の誇りはホームランやヒットの数ではない。私が誇りに思うのは数知れないスランプからそのつど立ち上がったことだ」



皆さんのこれからの人生が輝く青春となるよう心から祈願します。

1年5組担任 前橋啓治

【佐野先生より】

「昔の誰かの高校時代」

以前にこの学年通信で小学校、中学校の時の話をさせてもらったので、今回は高校時代の話をしただけさせていたくことにした。

私の高校時代は客観的に見ると、昔の地方都市の普通の高校生となんら変わりはない。でも実際は、部活動で上手になりたい、勉強で遅れをとりたくない、将来の自分が見えない、容姿が気になる、友達と楽しめるけど本当の友達と言えるのか、もっとあたたかい家庭を望んでいるのに、など悩みだらけで、それを暴露せず毎日笑顔を見せようとする自分自身が嘘をついているような気がした。

私自身がどのような学習方法をしていたかという君たちにアドバイスできるようなことは何もないような気がする。とにかく部活動を引退してからは必死だった。何がなんでも志望大学に入れる学力をつけなければならない。高校生ではなくという現実と大学生になるという現実を自分でつなげなければならないのだ。私の出身校の行事ではすべて先生たちは関与せず、生徒主導でやっていたのだが、最後の学校行事となる2学期の体育大会に向けて、高校三年生の夏休みに応援合戦練習があった。そこに参加するような主要メンバーになるか、参加しないその他大勢になるのか死ぬほど悩んだ。結局私は後者を選んだ。「ああ、灰色の青春を選んだのだ」と感じたのをよく覚えている。

自転車で30分かけて毎日図書館に通って勉強した。雨の日も雪の日も自転車で行った。休みの日は10時前に入り口で並び席とりをし、昼には持ってきた弁当を食べ、6時の閉館で家に帰った。同じ大学を目指す友達と二人のときもあったが、たいてい一人だった。私の育った地域の図書館は神戸と比べて広く、行けば様々なストレスに悩まされることはなかった。夏休みの補習や普段の学校の授業、二次試験で出題される世界史の論述問題の指導を受けに行く以外、7月から翌年の3月まで8か月間一人でいつも何か課題を出して図書館で勉強し続けた。今これを書いているので、結果はわかると思うが、成功に終わった。

ここまで読んで、君たちが何か気づいたことがあれば幸いである。「何かをあきらめること」と「何かを決心すること」は表裏の関係なのだ。そしていつもすっきりはしない。もやもやの中で生きていく。でも幸せはそこにある、きっとあると私は思う。



【学年主任より】

3月3日に学年末考査が終わり、4日以降は4限までの短縮授業となりました。その間には高校入試に伴う生徒休業日もありましたね。そして明日から4月7日までは「春休み」となります。何を言いたいかというと、学校が通常運転をしている時に比べると圧倒的に「時間」があるということです。(ここでいう「時間」とは、現代文の教材で学んだ「経過するもの」としてとらえられる時間)のことです。)さて、いつもより自由な時間が増えた今、君たちはどのような時間の使い方をするのでしょうか。好きなだけ寝る？一日中ゲーム？動画を見続ける？まあ、一日ぐらいいい日があってもいいのかもしれませんが(体には悪そう…)、毎日がそんな調子では、春休み明けに虚しい気持ちに襲われるのは必然です。後悔することが分かっていることを敢えてやる必要はありません。ではどうするか。

まずは学習面についての提案です。春休み中の課題にはすでに取り掛かっていると思いますが、「提出すればいい」という勉強の仕方はいい加減やめませんか。(提出しないのは論外ですが。)教材の内容を全部理解して身に付けるぐらいの目標を立てて、いつもより丁寧に時間をかけてやってみましょう。さらに教材に書かれていることの周辺までに学習内容を広げていくのが本当の勉強というものです。ワークの設問を解くことだけが勉強ではありません。

もう一つは読書です、と言いたいところですが、読書の効用については今までにも書いたり話したりしてきたので、今回は省略します。(朝読以外で読書の習慣がない人も、いずれ自分にとっての良い本に出逢えば、やめろと言っても本を読むようになるでしょう。)それよりも、今世界や日本で起こっていることにもっと関心を持ってください。関心のあることが自分の身の周りのことだけというのは、高校生としては少し寂しい気がします。もちろん今、最も重大で心が痛む出来事はロシアとウクライナの戦争ですが、テレビや新聞、ネット等には、それ以外にも様々なニュースが溢れています。まずは何が起きているのかを知り、その背景には何があり原因は何なのか、専門家の意見も参考にしながら自分なりに考える。そういう姿勢は今後の課題研究にも生かされるでしょうし、視野を広くすることにもつながるでしょう。

最後に、これも現代文の教材にあった言葉ですが、「今を生きているという時間」を見つけてください。本当はこれが一番大事なことになるのかもしれませんが。「ちょっと何を言ってるのか分かりません」という人は、もう一度教科書をよく読んでおいてください(笑)。

ではまた4月に会えるのを楽しみにしています。ごきげんよう。

4月の予定

4月
8日(金) 着任式、始業式、大掃除、HR 8:35 新2年生は <u>4Fの旧番号のクラス</u> に入る 食堂休業(~15日(金))
11日(月) 離任式、対面式、課題考査(英・国・数6限まで)
15日(金) 学年企画行事
19日(火) 総探講演会ゼミ(3・4限)
25日(月) 7限 壮行会(総体・交流戦)



26日(火) 須磨東高校との交流戦

※身体計測や内科検診、眼

科検診などの健康診断については別途日程連絡があります。

食堂は 18 日（月）から利用可能となります。